



枚方教組、市教委にコロナ第6波への緊急要請書

PCR検査の拡充と療養に専念できる条件作りと現場への支援を

コロナ第6波の急激な感染拡大が止まりません。

オミクロン株は、ワクチン接種者へも感染するなど、従来に比べ感染力がはるかに強いこと、働き盛りの20～40代の感染割合が大きくなっていること、10代にも感染が広がり、とりわけ学校施設での感染拡大の恐れが府の対策本部会議でも指摘されていました。

枚方教組は、18日に市教委に対して緊急要請書を提出して、PCR検査の拡充と療養に専念できる条件作り、現場への支援を求めました。

沖縄では、社会機能が維持不可能な事態も

米軍基地からの感染が広がり深刻な事態になっている沖縄では、医療関係者やエッセンシャルワーカーへの感染が急増、出勤不能の事態が広がることで、病院での医療が維持できなくなる事態に直面しています。学校でも相次ぐ感染による学級閉鎖、学年閉鎖、教員の感染、濃厚接触による出勤不能が続出し、教育活動の維持が困難になっています。

保護者から、一斉休校をしないのかとまで悲痛な声が寄せられる事態となっています。

このままでは、大阪、枚方にも沖縄の事態が

大阪でも府立高校での感染、休校が連日相次いでおり、枚方でも20人以上の感染者が出る小学校もあり、沖縄と同じ事態がすぐそこに来ています。

自分の家族、子どもの学校、保育所の休校、休園や濃厚接触者になることによる出勤不能の事態も広がりつつあります。

陽性者数は公表されていますが、これらの「出勤不能」の教職員数などは公表されていません。

府対策本部では1月末にも感染のピークが来ると予測しています。緊急に現場の実情を反映し、教職員の声を反映した取り組みを取るべきです。

迅速で徹底したPCR検査の充実を

感染力の強いオミクロン株に対しては、何より徹底したPCR検査の拡充が求められます。

学校で陽性者が出た場合に教職員にも抗原検査ではなく、緊急にPCR検査を実施するとともに、教職員の家族が感染、濃厚接触者になった場合なども、迅速なPCR検査体制が必要です。

何度も感染拡大を経験して第6波になってもなお、濃厚接触者をはじめとした検査が容易に受けられないのが実態です。

授業時数弾力化、市教委課題、行事の大胆な削減

療養に専念できる条件作り、支援こそ

第5波の中でも学校が忙しいことから、感染を言い出せずに勤務を続ける例がありました。子どもも含めて、安心して療養できるように、文科省も従来から何度も示しているように、授業時数の

扱いを弾力化して学級、学年閉鎖、休校によって標準時数を下回ってもやむを得ないことを明確にすること。チャレンジテスト、すすくウォッチ、GTECなど中止する、教育委員会からの学校への課題を大胆に見直して学校の裁量権を最大限尊重することが必要です。

枚方教組が緊急の要請書を市教委に提出

枚方教組は、緊急の要請書を市教委に提出し、上記の趣旨から以下の内容を市教委として速やかに対応することを求めました。

新型コロナ感染第6波への対応を求める緊急要請書(要旨)

1. 授業時数の扱いを弾力的に扱い、文科省の示している感染症の拡大による学級閉鎖で標準授業時数を下回っても違反ではないとする指針を最大限適用し、事態によっては学習内容に重点化による対応を行うこと。
2. 市教委の課題・行事を削減し、各学校への指示事項を見直し、各学校で自由に取捨選択できる裁量権を最大限尊重すること。
3. 養護教諭への負担拡大が予想されることから、人的な支援、負担軽減策を緊急に措置するとともに、抗原検査等の業務を養護教諭に担わせることのないようにすること。
4. 休校、分散登校、オンライン授業などの対応については、職場への事前の説明や準備、現場意見の反映を十分行うこと。
5. 学年閉鎖、休校に備えて、留守家庭児童会の体制を確立すること。
6. 在宅勤務、時差出勤、職免措置など柔軟に適應できるようにすること。
7. PCR検査の拡充、教職員の濃厚接触者、府外在住者も含めて迅速に無料の検査の実施。
8. 職員用にアクリル板パーテーション、不織布マスク、ペーパータオルなど必要な資材が購入できる予算を緊急に措置すること。

要請の中で、子どもとともに、教職員にも陽性、濃厚接触にかかわる出勤不能が急激に増えており、PCR検査などの対応が十分でない中で、復帰に時間がかかる実態が、深刻な影響を及ぼしていることを指摘。4

急激な感染で、とりわけ、学級閉鎖、子どもの欠席が広がっている中で、安心して療養できるように授業時数の弾力的な扱いを強く求めました。さらに、ハイブリッド授業、オンライン授業などについても、担当教員の出勤不能が広がる恐れが現実的になっており、無理な実施を求めることがないように、学校で柔軟に判断・対応できるように市教委として対応することを強く求めました。

昨年のコロナ感染の中でも、「リスクコミュニケーション」に基づく対応を組合としても求めてきました。高校受験などひかえて、極めて難しい対応が今後も予想されます。現場の教職員の声を十分に反映させ、実態にかみ合う対応こそ求められます。

1/22(土)新春まなび庵 は中止します

1月22日(土)15:00 ラポール枚方 3F 研修室1 で開催予定の新春まなび庵「ゲーム・クラスレク講座」は感染拡大状況を踏まえて中止とします。

今後状況を見ながら、延期開催などについては検討させていただきます。